

# The 4th Annual Euromoney Japan Capital Markets Congress

## 第四回 ユーロマネー 日本資本市場コンGRESS

euromoney  
conferences

17-18 September 2009 • Hotel Okura, Tokyo  
2009年9月17~18日・ホテルオークラ(東京)

### 議事日程

09年9月17日(木曜日)

08.00-09.00	受付開始	平安の間・エレベーターホール
09.00-09.10	開会挨拶: ユーロマネー・インスティテューショナル・インベスター社アジア地域代表取締役社長、トニー・シェール氏	平安の間I-II
09.10-09.30	「日本経済の現状と展望」 基調講演: 財務省、国際局次長、古沢 満宏氏	平安の間II
09.30-10.30	パネル I: 日本経済: その前提の見なおし  アメリカ発の世界経済危機に各国政府・中央銀行は大規模な対策で応じたが、これで充分なのか? 膨れ上がった政府のバランス・シートを長期的にどう手当てしていくのか? この危機で貯蓄の価値は大幅に目減りしたが、今後はインフレの急騰が政府債務を軽減してくれるのか? 現在の最優先事項は米・欧・アジア経済の急落に歯止めをかけることだが、次に重要な課題とは? G20 会合では、恐慌を阻止するための財政・金融政策および新たな資金供給におけるグローバルな協調など、壮大な公約が盛りだくさんだったが、世界的な貿易不均衡問題や市場先導型の資本主義に代わる有益な代替策などについてはほとんど議論されなかった。アメリカの消費者がアジアや日本の商品を永遠に買い続けてくれるという前提はもはや崩れた。4月、日本政府は第4次となるこれまでで最大の緊急景気対策を発表したが、効果は上がっているのか? デフレは回避できるのか? 来年度にかけて税収が減る中、日本の主な歳入源は国債であるが、中期的に持続可能なのか? 国内で保護主義が高まる中で、日本は構造改革を断行し自力回復を目指す意志があるのか、それとも米・中に依存し続け、外国経済に左右される運命をふたたび選ぶのか? このオープニングパネルでは、これから 2012 年までの日本の見通しを議論し、新しい首相が直面する危急の国内問題について検証する。  議長: ユーロマネー・コンファレンス、エディター、マーク・ジョンソン氏 講演者: いちごアセットマネジメント株式会社、代表取締役社長、スコット・キャロン氏 タンタロン・リサーチ・ジャパン株式会社、代表取締役、イエスパー・コール氏 日興シティグループ証券、取締役 兼 代表執行役社長、林 森成氏 独立経済法人経済産業研究所、副所長、森川 正之氏 東京大学大学院経済学研究科、教授、吉川 洋氏	平安の間I-II
10.30-11.00	休憩	平安の間III

Lead Sponsors | 後援企業



Co-Sponsor | 協賛企業



Exhibitors | 企業



# The 4th Annual Euromoney Japan Capital Markets Congress

## 第四回 ユーロマネー 日本資本市場コンGRESS

euromoney  
conferences

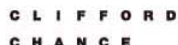
17-18 September 2009 • Hotel Okura, Tokyo  
2009年9月17~18日・ホテルオークラ(東京)

11.00-11.45	ワークショップA 主催: シティ <i>平安の間・II</i>	ワークショップB 主催: BNPパリバ証券 <i>アトランティックルーム</i>
	外債 - 本邦投資家にとっての機会とは	変動利付国債と物価連動国債のプライシングモデル
	傾斜のきついイールド・カーブや中央銀行の政策金利据え置き見通しを背景に、米国や欧州の債券市場が海外投資家の資金をひきつけている。このワークショップでは、2010年にかけてのグローバル債券市場の見通しを議論し、デュアレーションやイールド・カーブ、その他のトレードアイディアの面から、日本の投資家にとっての収益機会やリスク要因を検証していく。	変動利付国債については、CMT オプションのプライシングモデル、およびそれらのヘッジ手法について解説、物価連動債については、インフレーションインデックスの数理モデルを考え、YoY スワップなどのプライシングについても解説する。また、最近の話題としてそれらのリップパッケージ債についても触れていく。
講演者: シティ・インベストメント・リサーチ&アナリシス、マネジングディレクター、 マーク・スコフィールド氏	講演者: BNPパリバ証券東京、クオンツリサーチ部長、 <b>箧島 靖文氏</b> BNPパリバ(ロンドン)、マネジング・ディレクター、FXデリバティブリサーチ 統括責任者、 <b>マーク・オリヴィエ・セガン氏</b>	
11.55-12.40	ワークショップC 主催: シティ <i>平安の間・II</i>	ワークショップD 主催: クリフォード・チャンス <i>アトランティックルーム</i>
	オーストラリアの債券市場について	国際イスラム債(スクーク)市場 - 日本はどのように適応するのか?
	3名のオーストラリア州政府担当者によるパネル・ディスカッションにより、このワークショップでは日本の投資家の皆様へ、最新のオーストラリア経済および準政府債券市場の現状について解説していく。	過去5年間に、イスラム金融市場は急速に発展してきた。イスラム金融の要であるスクークと呼ばれるイスラム債も、昨今の景気後退の前までは、世界で最も急速に成長している金融商品のひとつであった。本ワークショップでは、スクークの仕組み、スクーク市場を推進するための近時の国際的な発展の状況や、そのための政府のイニシアチブについてディスカッションを行い、スクーク市場を利用するにあたって日本企業が直面するいくつかの問題点を分析する。
議長: シティ オーストラリア/ニュージーランド、デッド・キャピタル・マーケット部長 ディレクター、 <b>デビッド・ベイリー氏</b> (次ページに続く)	講演者: クリフォードチャンス法律事務所、カウンセラー、 <b>レンフォン・ライ氏</b> クリフォードチャンス(アラブ首長国連邦)、シニア・アソシエイト、 <b>グレゴリー・マン氏</b> クリフォードチャンス法律事務所、キャピタル/マーケット部門パートナー、 <b>崎村令子氏</b>	

Lead Sponsors | 後援企業

Co-Sponsors | 協賛企業

Exhibitors | 企業



# The 4th Annual Euromoney Japan Capital Markets Congress

## 第四回 ユーロマネー 日本資本市場コンGRESS

**euromoney**  
**conferences**

17-18 September 2009 • Hotel Okura, Tokyo  
2009年9月17~18日 • ホテルオークラ(東京)

	<p>講演者:</p> <p>ニュー・サウス・ウェールズ・トレジャリー・コーポレーション (TCorp)          トレジャリー、クライアント&amp;リスク・サービス部長、マイケル・アレン氏          クイーンズランド・トレジャリー・コーポレーション (QTC)          フィナンシャル・マーケットズ部長、リチャード・ジャクソン氏          トレジャリー・コーポレーション・オブ・ビクトリア (TCV)、財務部長、          ジャスティン・ロフティング氏          シティ オーストラリア/ニュージーランド、シティ・インベストメント・リサーチ&amp;          アナリシス、シニアエコノミスト、ジョシュア・ウィリアムソン氏</p>	
12.40-13.40	昼食	平安の間III

Lead Sponsors | 主要出展



Co-Sponsor | 協賛出展



Exhibitors | 出展



# The 4th Annual Euromoney Japan Capital Markets Congress

## 第四回 ユーロマネー 日本資本市場コンGRESS

euromoney  
conferences

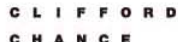
17-18 September 2009 • Hotel Okura, Tokyo  
2009年9月17~18日・ホテルオークラ(東京)

<p>13.40-14.40</p>	<p>パネル II: 日本の投資・貿易: 東南アジアの発展のために <span style="float: right;">平安の間I-II</span></p> <p>東南アジア全域で、日本からの資金が橋、埠頭、天然ガス施設、自動車工場など多くの長期プロジェクトを支えている。国内経済に必要な天然資源を確保するためには、アジアのインフラと景気刺激のために日本の官民が共同で投資し、取り組むことが重要である。低成長・低資源価格の今こそ、日本企業はアジア市場へのアクセスを確保し、製造コストの高い国内の代わりに現地に工場を立ち上げる時ではないか? 一方、必要な貿易金融のサポートはどこから期待できるのか? 今、行動を起こすことが長期的利益につながるが、日本企業はこの絶好の機会を生かせるのか? 欧米ファンドの「ホットマネー」がアジアを去った今、日本企業・投資家は長期的視点を持つことで報われるのか? ユーロマネーでは、インドネシア、タイ、パプアニューギニア、インドから政府高官を招き、過去のプロジェクトの成功例に注目、今後5-10年間の日本によるアジア投資拡大の見通しについて考察する。</p>	<p>パネル III: 邦銀: 景気回復の担い手か、それとも足かせか? <span style="float: right;">アトランティックルーム</span></p> <p>邦銀は健全か? 3大銀行は公的資金の受け入れを拒否したが、資本ベースは本当に堅牢なのか? ひとつの目安として TCE/TA 比率 (有形資産に対する有形普通株主資本の比率) で比較すると、欧州の銀行が 4.2%、米銀が 4.6% であるのに対して邦銀の平均は 3.6% (マッコリー・リサーチによる) である。これで低迷する景気を支えることができるのだろうか? 邦銀は、調達コスト (08年に比べ低下している) とローン金利のスプレッドを維持しバランスシートを修復する必要がある。しかし、調達金利に合わせてローン金利を下げなければ、長期的には邦銀が頼みの綱とする顧客の健全性が損なわれかねない。この悪循環をどう防ぐのか? 日本企業が安価なファンディングのすべを失った時、90年代末に日本経済を苦しめたゾンビ企業が復活することになるのか? 邦銀の資本増強に最も適した手段とは? 既存の株の希釈化を受け入れるべきか、債券発行を選ぶべきか、あるいは、これまでのところ拒んでいる公的資本活用を選択すべきなのか? 一方、政府は市場をゆがめることなく邦銀を支援できるのか? 投資家は邦銀の債券・株式への投資を検討すべきか? 主要銀行がぎりぎりの自己資本比率で機能不全の状態では日本経済の好転は期待できない。このパネルでは、邦銀が景気回復の足かせではなく担い手となるために何をすべきなのか、また、そのために政府がどんな役割を担えるのかを検討する。</p>
	<p>招待講演者: 国際協力銀行、経営責任者、渡辺 博史氏 議長: ユーロマネー・コンファレンス、エディター、マーク・ジョンソン氏 講演者: タイ投資委員会東京事務所、所長、タイ国大使館、経済投資事務所、公使 チョークディー・ゲーウセン氏 インドネシア共和国 投資調整庁、長官、ムハマド・ルトフィ氏 電源開発株式会社・JPOWER、取締役、水沼 正剛氏 富士重工業株式会社、取締役・専務執行役員(海外営業管掌)、長門 正貢氏 財団法人国際通貨研究所、専務理事・APEC ビジネス諮問委員会 (ABAC) 金融・経済作業部会、部会長、渡辺 喜宏氏</p>	<p>議長: ユーロマネー・ジャパンダイジェスト、エディター、ローレンス・ホワイト氏 講演者: 国際通貨基金 アジア太平洋地域事務所所長、有吉 章氏 野村総合研究所、金融フロンティア事業本部、金融市場研究室主席研究員、井上 哲也氏 DIAM アセットマネジメント、クレジットグループリーダー、三井 孝則氏 信金中央金庫、シニアエコノミスト、高橋 宏彰氏</p>
<p>14:50-15:35</p>	<p>ワークショップE <span style="float: right;">平安の間I-II</span> 主催: ゴールドマン・サックス</p>	<p>ワークショップF <span style="float: right;">アトランティックルーム</span> 主催: シティ</p>

Lead Sponsors | 執務企業

Co-Sponsor | 協賛企業

Exhibitors | 企業



# The 4th Annual Euromoney Japan Capital Markets Congress

## 第四回 ユーロマネー 日本資本市場コングレス

euromoney  
conferences

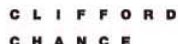
17-18 September 2009 • Hotel Okura, Tokyo  
2009年9月17~18日・ホテルオークラ(東京)

	<p><b>住宅金融支援機構 MBS</b> ～残高 8 兆円超の一大商品セグメント</p>	<p>日本における為替のリスク管理と投資について—最近の傾向と動き</p>
	<p>住宅金融支援機構 MBS は 2001 年の発行開始以降およそ 10 兆円が発行され、残高 8 兆円超の市場規模となった。サブプライムローンに端を発する今般の金融危機を通じ、世界中の証券化商品のパフォーマンスが悪化し、証券化市場の規模は著しく縮小したが、こうした中でも機構 MBS は相対的に安定したパフォーマンスを維持し、継続的に発行され続けた。当ワークショップでは、米国 MBS とも比較しながら金融危機下における機構 MBS の動向を振り返り、今後の動向について探っていく。</p>	<p>過去 2 年ほどの為替相場の激しい乱高下に直面して、日本の経済界にとって為替リスク管理がいかに困難であったか。為替は法人・個人の投資家にとって投資に値する資産クラスとみなされるのか。日本の企業は円高に対しどのようなキャッシュ・マネージメント、リスク管理の手法をとってきたのか。— 著名パネリストがこのような論点に沿って討議していく。またいくつかの業界の例も取り上げ、日本の為替市場のこれまでの発展に関して、為替レートの今後の動きに対する影響についても見解を述べていく。</p>
	<p>議長： ゴールドマン・サックス証券株式会社、投資銀行部門、マネージング・ディレクター、<b>小泉 泰郎氏</b></p> <p>講演者： ブラックロック・ジャパン株式会社、代表取締役社長、<b>有田 浩之氏</b> 独立行政法人住宅金融支援機構、市場資金部長、<b>前田 克彦氏</b> スタンダード・アンド・プアーズ、ストラクチャード・ファイナンス部、主席アナリスト、<b>中田 祐二氏</b> 日本生命保険相互会社、資金証券部、担当課長、<b>坂根 直統氏</b> 金融庁、検査局総務課長、<b>鷲見 周久氏</b></p>	<p>講演者： シティバンク銀行株式会社、代表取締役副社長 兼 個人金融部門長、<b>ファビオ・フォンタイニャ・ピエイラ氏</b> ブリヂストンファイナンス株式会社、常務取締役 金融事業担当、<b>飯島 貴久氏</b> シティバンク銀行株式会社、マネージングディレクター、外国為替部長、<b>バビ・マイトラ氏</b> 住友商事株式会社、理事 金融事業本部長、<b>高井 裕之氏</b> 株式会社ゆうちょ銀行、執行役、<b>白木 孝氏</b></p>
15.35-16.00	休憩	平安の間 III
16.00-16.45	<p>ワークショップ G <span style="float: right;">平安の間 II</span> 主催: ゴールドマン・サックス</p>	<p>ワークショップ H <span style="float: right;">アトランティックルーム</span> 主催: シティ</p>
	<p><b>地方債: 投資家にとっての新たな投資機会</b></p> <p>本邦の公募地方債の発行残高は約 41 兆円に達し、銀行等引受債などと併せると 65 兆円を超える発行残高を有する等、年々市場規模を拡大。約 45 兆円の政府保証債と比較しても、ほぼ同等規模の水準になっている。本セッションでは、超長期以外の年限にも広がりつつある起債方式の多様化、今後の発行計画における考え方について、などをトピックに、地方債セクターを代表する発行体とのパネルディスカッションを通じ、今後の商品性向上と投資家層拡大に繋がる検討課題について探る。</p>	<p><b>日本国債市場の流動性—物価連動債 (JGBi) を中心に</b></p> <p>リーマン破綻後に大きく損なわれた日本国債市場の流動性は、現在どの程度まで回復したのか。特に流動性が極端に失われた物価連動国債、変動利付国債の両市場に対して、この間、発行当局はどのように対処してきたのか。</p> <p>リーマンが破綻した昨秋来の日本国債市場を振り返るとともに、最近の投資家、プライマリーディーラー間の議論も踏まえ、物価連動債を中心に、当局者と市場参加者が今後を展望する。</p>

Lead Sponsors | 後援企業

Co-Sponsors | 協賛企業

Exhibitors | 出展



# The 4th Annual Euromoney Japan Capital Markets Congress

## 第四回 ユーロマネー 日本資本市場コンGRESS

**euromoney**  
conferences

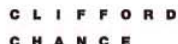
17-18 September 2009 • Hotel Okura, Tokyo  
2009年9月17~18日・ホテルオークラ(東京)

	<p>議長： ゴールドマン・サックス証券株式会社、投資銀行部門、マネージング・ディレクター、<b>小泉 泰郎氏</b></p> <p>講演者： 地方公共団体金融機構、資金部、資金課長、<b>菊池 善信氏</b> ムーディーズ・ジャパン株式会社、代表取締役兼マネージング・ディレクター、<b>北山 慶氏</b> 総務省自治財政局、地方債課長、<b>満田 誉氏</b> 大阪市財政局、財務部、資金担当課長、<b>大東 辰起氏</b></p>	<p>講演者： 財務省国際企画課長、<b>貝塚 正彰氏</b> 日興シティグループ証券、マネージング・ディレクター、エコノミスト、<b>村嶋 帰一氏</b> 日興シティグループ証券、マネージング・ディレクター、ストラテジスト、<b>佐野 一彦氏</b> 日興シティグループ証券、バイス・プレジデント、円金利トレーダー、<b>添田 卓也氏</b></p>
16.55-17.55	<p>パネル IV: 日本の債券市場: 流動性の回復にむけて <span style="float: right;">平安の間 I・II</span></p> <p>これまで日本の債券市場は、世界でも最も深みと流動性のある市場として機能してきた。しかしリーマン破綻後、リスクアペタイトの低下とともに市場は急速に縮小した。資本増強のため多くの機関が日本国債を含む流動性の高い保有証券を一斉に売却し、その結果インフレ連動国債市場がマヒ状態に陥ることもあった。しかしここにて変化の兆しもある。サムライ債など主要セクターへの関心が徐々に戻りつつあり、新年度に入って投資家たちも新たな投資先を模索し始めている。借り手側も、世界最大の資本プールを持つ日本の債券市場へ再アクセスしようとしている。一方で多くの課題も残っている。量的緩和を背景に、政府による債券購入は市場にどんな影響を与えるのか？利回りはどこまで低下するのか？デフレは復活するのか？このパネルでは日本の債券市場の主要問題、とりわけ今後の投資パターンの変化について議論・検討する。</p> <p>議長：ユーロウィーク、アジア担当エディター、<b>スティーブン・ガートン氏</b> 講演者：トヨタアセットマネジメント株式会社、投資戦略部チーフストラテジスト、<b>濱崎 優氏</b> 国際投信投資顧問株式会社、債券運用部円債運用・グループリーダー、<b>加藤 章夫氏</b> ニッセイ基礎研究所 金融研究部門、主任研究員、<b>徳島 勝幸氏</b> 株式会社日本政策投資銀行(DBJ)、財務部長、<b>横山 洋一郎氏</b> 慶応義塾大学経済学部教授、<b>吉野 直行氏</b></p>	
17.55-18.00	<p>閉会挨拶: ユーロマネー・コンファレンス、マネージング・ディレクター、アジア太平洋担当、<b>ニック・ヘイワード氏</b> <span style="float: right;">平安の間 I・II</span></p>	

Lead Sponsors | 後援企業



Co-Sponsor | 協賛企業



Exhibitors | 企業



# The 4th Annual Euromoney Japan Capital Markets Congress

## 第四回 ユーロマネー 日本資本市場コンGRESS

euromoney  
conferences

17-18 September 2009 • Hotel Okura, Tokyo  
2009年9月17~18日・ホテルオークラ(東京)

09年9月18日(金)

08.25-08.55	受付開始	平安の間・エレベーターホール
08.55-09.00	開会挨拶: ユーロマネー・コンファレンス、マネージング・ディレクター、アジア太平洋担当、ニック・ヘイワード氏	平安の間I-II
09.00-09.20	基調講演: 日本銀行、副総裁、山口 廣秀氏	平安の間II
09.20-10.20	パネルV: グローバル経済: 復活のエンジンとなるのは?  今回の金融危機の根本原因は、一部の国の家計部門と金融セクターにおける過剰なレバレッジだった。しかし現在の財政政策は、消費者による支出を継続させることを主眼としている。レバレッジ削減という長期的な必要性と、総体需要の刺激という短期的な命題、どちらが勝つのか? アメリカなど主要国で見られる回復の兆しは本物か幻影か? アメリカの金融セクターは最悪期を脱したのか? アメリカの低迷が続いた場合、他の国が需要を押し上げ経済成長を率いることができるのか? とりわけ中国が消費大国になれるのか? 中国の景気対策は効果を上げるのか? そうであれば、マネー、財、サービスの流れが複雑に絡み合う他のアジア諸国への影響は? 世界経済が均衡を取り戻せた時、需要の新たなパターンは日本など輸出依存の経済にどう影響するのか? このパネルではグローバルの課題と日本経済のつながりについて議論する。  議長: ユーロマネー・コンファレンス、エディター、マーク・ジョンソン氏 講演者: ウェスタン・アセット・マネジメント株式会社、投資運用部長、アジア太平洋地域運用部門統括、土井 一人氏 SAILアドバイザー、CEO、ヴィンセント・デュアメル氏 SJSマーケット、チーフ・インベストメント・ストラテジスト、ダリウシュ・コヴァルチク氏 ロベコ香港、チーフ・インベストメントオフィサー、アルノート・ヴァンリジン氏 ゴールドマン・サックス証券株式会社、汎アジア経済調査統括部長 兼 日本経済担当チーフ・エコノミスト、山川 哲史氏	平安の間I-II
10.20-10.50	休憩	平安の間III

Lead Sponsors | 後援企業



Co-Sponsor | 協賛企業



Exhibitors | 企業



# The 4th Annual Euromoney Japan Capital Markets Congress

## 第四回 ユーロマネー 日本資本市場コンGRESS

euromoney  
conferences

17-18 September 2009 • Hotel Okura, Tokyo  
2009年9月17~18日・ホテルオークラ(東京)

10.50-11.35	ワークショップI 主催: <b>BNPパリバ証券</b>  平安の間I・II	ワークショップJ 主催: <b>ゴールドマン・サックス</b>  アトランティックルーム
	日米の債券市場構造と財政プレミアム  日本と米国の債券市場の構成や投資家層などを比較し、財政プレミアムが日米市場でどのように異なるかを解説する。	財投機関の最新トレンド  平成13年の財政投融资改革の一環として特殊法人等の新たな資金調達手段として始まった財投機関債も今年で8年目を迎えた。この間、特殊法人等整理合理化計画により特殊法人の事業・運営形態が見直され、昨年10月の政策金融機関の組織改変により、財投機関債を発行する殆どの機関が独立行政法人、特殊会社など新たな組織形態に生まれ変わりました。しかし、未曾有の金融危機と景気低迷を受けて財投機関の政策執行機関としての期待が高まり、政府との一体性が再びクローズアップされている。本ワークショップでは財投機関の最近の動向について探っていく。
	講演者: BNPパリバ証券東京支店、投資調査部、シニア債券ストラテジスト、 <b>山脇 貴史氏</b>	議長: ゴールドマン・サックス証券株式会社、投資銀行部門、マネージング・ディレクター、 <b>小泉 泰郎氏</b> 講演者: 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構、経理資金部長、 <b>川西 徹氏</b> 株式会社日本政策金融公庫、企画管理本部財務部長、 <b>野村 俊明氏</b> 株式会社日本政策投資銀行、財務部長、 <b>横山 洋一郎氏</b>
11.40-12.40	パネルVI: <b>民主党選出の金融市場への影響</b>  ようやく下げ止まりの兆しが見え始めた国内経済の微妙な舵取りが求められる中、政権交代は金融市場にどんな影響を及ぼすのか? 選挙公約はどのように政府の方針に反映されるのか? 民主党は社会保護と構造改革のバランスを取りながら、財政の規律を維持することができるのか? 政策決定・実施プロセスや、内閣・国会・官僚の相互関係は変わるのか? 「議院内閣制」は国の予算プロセスをどう変えるのか? 国内外の投資家心理への影響は?  民主党は2010、2011年だけでなく、長期的成長見通しを維持できるのか? このパネルでは、民主党勝利の影響と、その財政政策および構造改革の意志が金融市場に与える意味について考察する。	平安の間I・II

Lead Sponsors | 主要企業



Co-Sponsor | 協賛企業



Exhibitors | 企業



# The 4th Annual Euromoney Japan Capital Markets Congress

## 第四回 ユーロマネー 日本資本市場コンGRESS

euromoney  
conferences

17-18 September 2009 • Hotel Okura, Tokyo  
2009年9月17~18日・ホテルオークラ(東京)

	議長: ブルームバーグ、アジア・コラムニスト、ウィリアム・ペセク Jr. 氏 講演者: 農林中金総合研究所、チーフエコノミスト、南 武志氏 J.O. ハンプロ・キャピタル・マネージメント、ファンドマネージャー、ラス・ナッシュ氏 株式会社日本総合研究所、理事、チーフシニアエコノミスト、翁 百合氏 BNP パリバ証券会社、日本担当エコノミスト、白石 洋氏 慶応大学、政策・メディア研究科教授兼総合政策学部教授、曾根 泰教氏
12.40-12.45	閉会挨拶: ユーロマネー・コンファレンス、マネージング・ディレクター、アジア太平洋担当、ニック・ヘイワード氏 <span style="float: right;">平安の間1・11</span>

\* 現在詳細を確認中となっております。

ユーロマネー・コンファレンスは、会議の内容を変更・修正または会議そのものを中止する権利を有しています。当社は、講演者による講演及び配布物の内容に関して一切の責任を負いません。尚、前述の発言の複製、模写、再発行及び再配布に関しても当社は責任を負いかねますのでご了承下さい。

Lead Sponsors | 主要企業



Co-Sponsor | 協賛企業



Exhibitors | 企業

